

凍結により給湯器が破損した場合の症状

- 軽症**
- ① 給湯器周りや内部の配管が凍結により破損し、溶けると水漏れが発生します。
 - ② 内部配管から水が漏れると配線と接続している部品に水がかかり漏電します。
 - ③ 漏電が原因となり、電気回路や熱交換器が故障します。
- 重症**



破損した給湯器周りの配管



内部の配管が破損した給湯器

Point!

- ・破損による水漏れをそのままにしておくと症状が悪化していきます。
- ・大きな故障を防ぐためにも、まずは水漏れを止める必要があります。



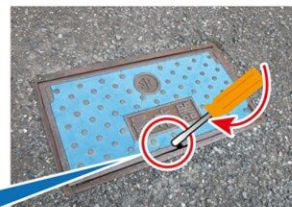
ガス給湯器の凍結防止対策に、ご理解、ご協力をお願いいたします。



症状が見られた場合の対応

1 まずは、早急に止水を!

水漏れを見つけたら、水道メーターボックスの中にある止水栓ハンドルをまわして止水して下さい!



水道メーターボックスの蓋

すき間にマイナスドライバー等を差込んで開けます。



時計回りにまわして下さい。



回転していたパイロットが止まり、止水が完了したことを確認できます。

2 専門業者へ修理を依頼しましょう

■ 給湯器以外の配管が破損した場合

- ・配管を交換すれば解決する場合が多いので、「中津市指定給水装置工事事業者」へ修理を依頼しましょう。
- ・業者の一覧は中津市ホームページに掲載しています。(右のQRコードからも確認できます)



業者一覧

■ 給湯器内部の配管が破損した場合

- ・お取引先のガス事業者へ修理を依頼しましょう。
- ・電気回路や熱交換器が故障すると高額な修理・取替え費用がかかるおそれがあります。

電気回路の修理代(基盤)	約4万円程度
熱交換器の交換(おいだき回路)	約5万円程度
熱交換器の交換(給湯回路)	約6万円程度

※故障の状態や設置状況によって費用は変わります。

作成

中津市上下水道部 ☎0979-24-1234 FAX0979-22-0924

啓発資料

寒波に備えて!

ガス給湯器の凍結防止対策を!!



WARNING

- 気温がマイナス4℃以下になるとき
- 氷点下の真冬が続くとき

10年に1度と言われた令和5年1月の寒波では、凍結により多くの給湯器の配管が破損し、機器の故障や漏水の原因となりました。

そこで今回、給湯器に焦点を当てた凍結防止対策をまとめました。是非、ご活用ください!



中面に詳しい対策を載せています

■ ガス事業者名/住所/電話/緊急時の連絡先

凍結防止のための4つの対策

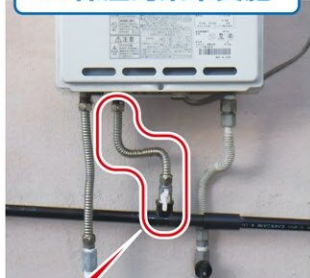


1 屋外の配管を保温しましょう

最も凍結しやすい箇所は給湯器周りの屋外配管です！

○:保温対策実施済

×:保温対策未実施



屋外配管の中でも、冷たい水が通る「給水配管」が最も凍結しやすいです。

〈保温の手順〉

1. 屋外でむき出しになっている配管を保温材や毛布などで覆いましょう。
2. その上からビニールテープなどで継ぎ目を巻きつけて固定しましょう。



保温材は、ホームセンターなどで購入することができます。



〈△注意〉給湯器本体は保温材等で覆わないで下さい!! 吸気や排気ができなくなり、故障の原因となります!!

2 蛇口から少量の水を流しましょう



Point!

- ・お湯側に回すことで、給湯器内部の配管に水が流れ、凍結を予防できます。
- ・なるべく給湯器から遠い箇所の蛇口を開けましょう。給湯器のガスの元栓を締めておけばガス代はかかりません。
- ・糸を引くくらいの水量で構いません。出しすぎには注意しましょう。
- ・出した水は浴槽や容器などに貯めておき、利用しましょう。

3 凍結予防ヒーターを使いましょう



コンセントの確認を!

凍結予防ヒーターの表示例

Point!

- ・給湯器には凍結予防ヒーターが備わっており、電源を入れておけば自動的に作動します。
- ・節電のため、コンセントを抜いているご家庭があります。凍結のおそれがある時は必ず電源を入れましょう。

4 空き家等は給湯器の水抜きをしましょう

〈△注意〉これは、空き家や長期間留守にする場合の対策です! 機種により方法が異なりますので、取扱説明書をご確認いただくか、お取引先のガス事業者へお問い合わせください。

凍結してしまった時の対応



1 給湯器リモコンの運転をOFFにしましょう



※凍結予防ヒーターが作動しなくなりますので、給湯器の電源コンセントは抜かないで下さい。
※リモコンがない場合はガスの元栓を閉めて下さい。

2 自然に溶けるまで待ちましょう

※無理にお湯などで温めて解凍しようとすると、管の破損や給湯器の故障の原因となります!



3 水漏れがないか確認しましょう

凍結が溶けて蛇口から水が出るようになったら、給湯器本体や周囲の配管が破損し水漏れがおきていないか確認しましょう。



中津市がYouTubeに水道管の保温や凍結防止対策の動画を載せています。こちらも参考にしてください。



動画QRコード